

予算等審査特別委員会 12月15日～16日

予算等審査特別委員会（議長を除く36人の議員で構成、委員長小笠原隆男議員、副委員長浅沼幸雄議員）は、条例3件、予算10件、その他3件の16議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今定例会では合併後初めての委員会審議となり、議会に付すべき契約及び財産の取得等の条例、福祉施策や米の生産調整に係わる農業振興策等について活発な質疑が交わされました。その結果、全16議案が原案のとおり可決されました。



合併後のよりよいまちづくりが期待される

地域が家族いつまでも元気ネットワーク構想に期待

議会に付すべき財産の取得等の条例について

【質問】 条例案によると議会に付さなければならない財産の取得又は処分は、予定価格2,000万円以上の不動産若しくは動産の買入れ若しくは売払い（土地にあっては、その面積が1件5,000㎡以上のものに係るものに限る。）とあるが、土地の場合、5,000㎡未満であれば2,000万円を越えても議会の議決に付さなくてもよいのか。

【答弁】 その通りである。

【質問】 そうすると5,000㎡未満の土地の場合取引金額の上限がなく、歯止めがきかなくなるのではないのか。

【答弁】 金額及び面積は地方自治法施行令で定められている最低の基準なので変えられないが、予算審議あるいは議員全員協議会等で説明し理解を求めながら事業執行していく。



牧場使用料の平準化が課題となっている

市営牧場の使用料は

【質問】 牧場使用料は旧遠野市が2,200万円、旧宮守村100万円と大きい差があるがその内訳は。

【答弁】 使用料の内訳は旧遠野市の平均は1頭1日当たり230円で1,700頭、旧宮守村は1頭1日当たり99円で230頭になっている。

【質問】 畜産農家では使用料の安い方に放牧する現象が起きてこないか。また、法定協では早い時期に是正するとなっていたが、附属施設の活用を含め市営牧場の運営をどう考えるか。

【答弁】 現状、使用料の安い寺沢牧場は満杯の状態にある。旧遠野市、旧宮守村の畜産への取り組みもあることから附属施設の活用も含め新遠野市として畜産振興のあり方、利用の指針等を検討し平準化を図って行きたい。

区長報酬について

【質問】 旧遠野市の場合、世帯数に関係なく区長に対して、同一額の報酬を出しているようだが、一行政区60世帯でも、600世帯でも同一額では納得しないが、いつまで続ける予定なのか。

【答弁】 区長報酬は世帯数に多少の差があるが、18年度以降も遠野市の例にならない同一額を出す考えである。

【質問】 世帯数は多少ではなく10倍以上の差がある。平等割や地域の広さ、世帯数等を勘案して決めるべきだと思う。60枚と600枚を区分するのは大きな差があるが、それでも同額なのか。

【答弁】 確かに600世帯を超える地域もあり、大きな差があるが、遠野市の例にならうことにしている。